

## 「2020年 安全な撮影のためのガイドライン」

### ～新型コロナウイルス感染予防対策～

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言は、大阪では5月21日に解除されましたが、まだまだ2波、3波がやってくる恐れがあります。アンテリジャンでは、これまでもテレワークを取り入れるなど、社員、お客様の健康と安全を第一に、考えられる施策を取ってきました。

ただ、お客様の笑顔を撮影し、素敵なメッセージを語っていただくには取材が欠かせません。それが私たちの仕事であり、使命です。

そこで、撮影に関わるお客様、代理店様はもちろん、スタッフ、社員、関わるすべての人の健康と安全を第一に、以下のような「2020年 安全な撮影のためのガイドライン」をまとめました。

- ・ 撮影スタッフは必要最小限にとどめる。
- ・ 体調が悪いスタッフは出勤させない。
- ・ 撮影当日は出勤時に検温し、体調(家族も含む)を確認、上長に報告する。
- ・ 必ずマスクを着用する。
- ・ 咳エチケットを厳守。
- ・ ウェットティッシュ、ハンドソープ、消毒用アルコールを常備する。
- ・ ゴム手袋、フェイスシールドなどの防護用品を用意する。使用后や破れた防護用品は、速やかに廃棄。他者へ感染させないようにする。
- ・ 人と人との間は原則2メートル以上の距離をとる
- ・ 室内の場合、換気を定期的にする。
- ・ 休憩時間中などに、機材の消毒をこまめに行う。
- ・ 複数のスタッフが同じ機材を触れないようにする。必要であれば機材の数を増やす。

- ・ こまめに手洗いを実践する。水道がない場合は、ウェットティッシュや濡れ手ぬぐいでも良い。
- ・ トイレ使用時はフタを閉めてから水を流す。
- ・ 人にものを渡す時は、手渡しせず、一度置いて取ってもらう。
- ・ 指よりも肘を使うことを心がける。
- ・ 他人のペン、スマホ(携帯電話)、パソコンなどの貸し借り、共有はしない。
- ・ 配布書類はメールで配布する
- ・ 一つのものに触れる人の人数を最小限にとどめる。
- ・ リモートで参加できるスタッフは、リモートで参加する。
- ・ 仮払いなどの現金のやりとりを減らす。
- ・ 全スタッフが清潔維持ため、こまめに身の回りのふき、掃除を実践する。
- ・ 帰宅後はすぐに入浴するか、蒸しタオルで顔を拭く。

以上

この「安全な撮影のためのガイドライン」は、CDC（米疾病予防管理センター）や米CMプロダクションユニオン、京都大学ウイルス再生医科学研究所の資料に基づく、弊社オリジナルの規定で、法的拘束力を持つものではありません。今後も状況に応じて、変更することがあります。

2020年5月22日  
株式会社 アンテリジャン

代表取締役 子守康範